

新まちづくり計画 (H16 ~ 18) 事業総括調書

施策体系コード	2-2-3		事業名	保育所待機児童対策事業
担当	子ども未来局子育て支援部保育課 大道 巧 211 - 2986			
全体計画 (当初)				
事業内容	保育所の待機児童の解消及び入所児童の処遇の改善を図るため、保育所の新築及び改築に要する経費の一部を補助する。 (定員1,530人増)		<年度別の事業内容>	
			16年度 私立保育所改築 5件 150人定員増 私立保育所新築 2件 210人定員増 認可保育所移行 5件 300人定員増 17年度 私立保育所改築 4件 90人定員増 私立保育所新築 2件 210人定員増 認可保育所促進 5件 300人定員増 18年度 私立保育所改築 4件 90人定員増 私立保育所新築 2件 180人定員増	
事業内容 (量・場所・規模等)	平成16年度事業内容 (決算)		平成17年度事業内容 (決算)	
	私立保育所改築事業150人(平成17年度に繰越し) ・篠路高洋保育園(定員90人 120人) ・北栄みどり保育園(定員120人 150人) ・菊水元町保育園(定員90人 120人) ・もみじ台北保育園(定員120人 150人) ・手稲曙保育園(定員120人 150人) 私立保育所新築事業(平成17年度に繰越し) ・拓北ひまわり保育園(篠路小学校区:定員90人) ・愛和新穂保育園(苗穂小学校区:定員120人) 認可保育所移行促進事業(各施設定員:60人) ・つくしの子共同保育所 ・子どもの園保育園 ・新川西さくらこ保育園 ・ルンビニー保育園 ・ていねあすなる保育園		私立保育所改築事業(平成18年度に繰越し、平岸興正保育園を除く) ・太平保育園(定員90人 120人) ・北郷ピノキオ保育園(定員120人 150人) ・札幌保育園(定員90人 120人) ・平岸興正保育園(定員120人 120人) 私立保育所新築事業(平成18年度に繰越し) ・かりき保育園(札苗緑小学校区:定員90人) ・吉田学園さくら保育園(琴似中央小学校区:定員120人) 認可保育所整備促進事業 ・中沼保育園(定員:45人)	
事業内容 (量・場所・規模等)	平成18年度事業内容 (決算)		評価 (成果)	
	私立保育所改築事業(平成17年度補正予算:平成18年度に繰越し) ・駒島保育所(定員60人 90人) ・栄保育園(定員120人 150人) ・札幌愛隣館第二保育園(定員90人 120人) 私立保育所新築事業(平成17年度補正予算:平成18年度に繰越し) ・開成みどり保育園(伏古小学校区:定員90人) ・宮の沢桃の花保育園(手稲宮丘小学校区:定員90人) 認可保育所整備促進事業(各施設定員:60人×4施設) ・北郷すずらん保育園 ・札幌真栄東保育園 ・稲穂中央保育園 ・まつば保育園		平成16年度から3か年で1,530人の定員増を図ることとしており、平成18年度末には目標定員増数を達成した。待機児童数及び超過入所者数の状況について、待機児童数は平成15年4月184人が平成18年4月に319人となっており、平成16年度及び平成17年度の事業が国の予算の関係で2カ年事業とされた影響により、増加となっている。超過入所者数については、入所割合(定員に対する通園者の割合)が平成15年度から103%台を安定して推移している。	
課題				
平成19年度からの3か年でさらに800人程度の定員増を図ることとしているが、待機児童及び超過入所者数の状況を見極めながら保育需要について検証する必要がある。また、事業を継続していく上で、適当な事業用地を確保することが困難となってきた。また、改築事業については、現在は待機児童解消に有効な施設を重点的に増改築事業として実施してきているが、159ある民間保育所のうち建築後の経過年数等から判断して改築が必要と思われる施設の増加が見込まれており、これらの改築手法について検討する必要がある。				
19年度以降の方向性・事業の予定				
平成19年以降については、引き続き私立保育所改築事業、私立保育所新築事業及び認可保育所整備促進事業を実施することにより、待機児童及び超過入所の解消につながる政策を継続する。 平成18年4月における保育所のニーズ量が計画作成当初の予想を上回る16,825人となっており、現状では、平成19年度以降もさらにニーズ量が増加していくことが予測され、平成22年4月における保育ニーズ量は、17,550人程度と推計されることから、引き続き保育所整備による定員増が不可欠の状況となっている。 そこで、平成19年度から平成21年度までの3年間でさらに800人程度の定員増を図るとともに、保育環境の改善に努める。				

